

皆様におかれましては、何かとご多用の折、定刻までにお集まりいただきましてありがとうございます。本日の進行を務めさせていただきます教科用図書採択海部地区協議会事務局の村井と申します。よろしくお願いいたします。

皆様のお手元にある次第にそって、会を進めさせていただきます。

なお、本日は1番の平野 高水 様が都合によりご欠席されると承っております。

先回もお配りしましたが、教科用図書選定に関する法令及び規則等について、お手元に資料として置いてありますので、適宜、ご覧ください。

1 開会のことば

(事務局員)

ただ今から、平成30年度第2回教科用図書採択海部地区協議会を始めさせていただきます。なお、本日配付の文書につきましては、秘密保持のため、閉会后、協議会要項、調査研究報告書については回収させていただきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

2 採択協議会会長あいさつ

(事務局員)

それでは、採択協議会会長 平尾 理 愛西市教育委員会教育長がご挨拶を申し上げます。

(会長)

皆様、こんにちは。本日は、教科用図書採択海部地区協議会ということで皆様にお集まりいただきました。今年度は、次期学習指導要領の改訂に伴い、中学校においては、「特別の教科 道徳」、小学校においては、「特別の教科 道徳」を除く11種の教科用図書の採択をお願いします。この採択地区協議会は、海部地区7市町村で、平成31年度に使用される教科書を選んでいただくための会であります。新聞・出版社等、地域の皆さんも、この会の動向に非常に注目していることと思います。夢と希望あふれる子どもたちが、将来を担う社会人としての基礎基本を身につけるためにも、教科用図書は大変重要なものになります。その意味でも、学校関係者だけで教科書を考える時代は終わりました。義務教育の専門外の方にも委員としてお集まりいただき、多くの方々と、積極的に情報を交換し、知恵を出し合いながら、児童生徒のために、よりよい教科書の選定をお願いしたいと思います。また、選定のあと、それぞれの市町村教育委員会において、本協議会の選定結果を生かしていただくために、海部地区7市町村の教育長の皆様にも委員として参加をいただきました。皆様方の真摯なご協議にご期待を申し上げまして、皆様への挨拶に代えさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 経過および選定事務説明

(事務局員)

経過および採択事務について、事務局より説明をさせていただきます。

—経過—

5月25日に第1回の協議会を開催し、委員の皆様を委嘱し、小学校の11種の研究会の22名と中学校の「特別の教科 道徳」の研究員5名の承認をいただきました。それを受けて、5月30日に第1回教科用図書研究会を行い、採択基準や選定資料等にもとづく公平公正な調査研究を依頼しました。6月30日までに2回、3回の研究会を開催し、本日、その報告をさせていただきます。調査研究と並行して、6月8日から7月2日まで大治町立公民館において、教科書展示会を開催し、のべ約85名の方々に31年度使用教科用図書を見てもらう機会を設けました。アンケート用紙104枚ほどのご意見が寄せられました。実話に基づいた心に響く教材、自分を見つめなおす教材、人としての優しさに触れる教材、子どもたちの自律を助ける教材等が多く含まれた教科書をとというご意見もありました。道徳を教科にすることに反対するご意見や特定の考

えを押し付けた教材、政治色の強い教材が含まれた教科書に対する批判的な意見がありました。多くのご意見を頂きましたが、同じ方が何枚もアンケートをご記入いただき、これが即、多くの方の意見とは捉えられないということを感じました。

—採択事務—

はじめに、小学校11種の教科用図書の研究報告を、事務局より行います。そのあと中学校の「特別の教科 道徳」の調査研究報告をしていただきます。そして、質疑応答を5分程度ほどとります。事前に教科書もご覧いただいているとは思いますが、後方に教科書をご用意しましたので、ご覧いただきながらご審議下さい。研究部の意向以外の教科書についてもご意見がありましたらお願いします。質疑応答後、研究員には退席をしてもらいます。そのあと、すぐに選定協議に移ります。小学校11種の教科用図書、中学校の「特別の教科道徳」の順に選定協議を行います。

—選定後の予定—

本協議会の選定結果を、明日、各市町村教育委員会に通知させていただきます。その後、各市町村教育委員会にて採択された結果を8月10日までに、本協議会にご報告ください。その後、8月18日までに県へ報告するという流れになっています。9月1日より、採択結果の公開となっております。本日の協議会で知り得た内容は、口外なされませんようよろしくお願いいたします。

—留意点—

選定にあたっての基本的なことから確認をさせていただきます。お手元の資料をご覧ください。4ページの採択基準の「基本的な方針」の7にありますように、教科書の選定にあたっては、県教委の示す採択基準や教科書選定資料等を尊重するとあります。

以上、ご留意いただいて、選定をお願いします。

4 選定協議

(事務局員)

それでは選定協議に移ります。ここからの取り回しを、会長をお願いします。

(会長)

それでは、小学校11種の教科用図書の研究報告並びに質疑応答を始めます。

各市町村教育委員会で小学校11種の教科書採択について、話し合いがなされたと思います。特に話題になったことがあれば、教えてください。

(委員)

特に学校の方からの要望意見等はないので、引き続き今まで通りの教科書でいいと思います。

(会長)

その他よろしかったでしょうか。

皆様方、特にご意見・ご要望はなかったでしょうか。

それでは、小学校11種の教科用図書について、事務局より各研究会の報告をお願いします。

(事務局員)

事前に小学校11種の研究会の研究報告書と採択理由書を配付させていただきました。それぞれの種目の研究会を数回開催し、検定に通った教科用図書を学習指導要領との関連、「あいちの教育の基本理念」との関連、内容、表記・表現及び使用上の便宜、印刷・造本等を研究し、精査しました。事前にお知らせしたように、小学校11種の研究会の研究報告では、平成27年度の採択と異なった教科用図書を選定した研究会はありませんでした。各研究会で採択された教科用図書は、国語…光村図書出版、書写…光村図書出版、社会…日本文教出版社、社会(地図)…帝国書院、算数…啓林館、理科…東京書籍、生活…啓林館、音楽…教育芸術社、図画工作…日本文教出版、家庭…東京書籍、保健…大日本図書です。

以上で、報告を終わります。

(会長)

ただいまの報告に対し、質問はありませんか。

特にないようですので、次に、中学校の「特別の教科 道徳」の研究報告並びに質疑応答に入ります。各市町村教育委員会で、中学校の「特別の教科 道徳」の教科書採択について、話し合いがなされたと思います。特に話題になったことがあれば、ご報告ください。

特にないようですので、それでは、「特別の教科 道徳」の選定協議を始めます。

事務局は、「特別の教科 道徳」の研究員の中に入れてください。

<特別の教科 道徳 研究員入室>

(研究員)

失礼します。研究部の部長を務めさせていただいています愛西市立佐屋西小学校の古田と申します。よろしくお願いいたします。

研究部では、1の学習指導要領との関連から5の印刷・造本等の観点において、8社の教科書について比較・検討して参りました。その報告をさせていただきます。

最初に、指導要領との関連について報告します。

東京書籍は、物事を多面的・多角的に捉えられるよう、立場を変えて考える場面設定などの工夫がされています。

学校図書は、生徒が自ら考えたり、自分の思いを深めたりすることができるように工夫されています。

教育出版は、問題解決的な学習を取り入れた教材が掲載され、物事を多面的・多角的に捉え、対話的な学びを進められるよう工夫されています。

光村図書は、多様な教材を様々な切り口で提示し、多面的・多角的に考え話しあい、自分につなげるための配慮や工夫があります。

日本文教出版は、問題解決的や体験的な学習を通じて、物事を広い視野から多面的・多角的に考えられるように工夫されています。

学研は、学習の道筋を示し、問題解決的な学習に取り組みやすいよう工夫されています。

あかつきは、自らを振り返って実生活に目を向けながら深い学びができるよう工夫されています。

日本教科書は、自分ごととして捉え、道徳的諸価値の理解が深められるよう工夫されています。

次に、「愛知の教育の基本理念」との関連について報告します。

東京書籍は、世界で活躍する日本人について取り上げ、広い視野をもって国際社会で活躍できる人間を育てるよう配慮されています。

学校図書は、先人の伝記や日本の文化に関する教材が取り上げられ、広い視野をもって社会で活躍できる人間を育てるよう工夫されています。

教育出版は、伝統・文化を発展させてきた人たちの思いに触れ、自己を高め、社会に役立つ心とする心を育むよう工夫されています。

光村図書は、関連づけて活用できるコラムが設けられ、多様な人々の存在を尊重してよりよく生きようとする心を育てられるよう工夫されています。

日本文教出版は、多様な職業、生き方の人物を取り上げ、自らの力を社会に生かそうとする心を育むよう配慮されています。

学研は、自他の命や多様な人々の存在を尊重する心を育てるよう編集されています。

あかつきは、伝統を大切にし、新たな価値を創造する心を育むことができるよう考慮されています。

日本教科書は、グローバル社会でのあるべき姿を知り、国際協調の精神が育まれるよう工夫されています。

次に、内容について報告します。

東京書籍は、教材がコンパクトにまとめられており、生徒の発達段階に合わせて、より深く考え、議論する授業ができるよう工夫されています。また、役割演技や体験学習などを通して、議

論する教材を設定し、多面的・多角的に考えることができるよう配慮されています。さらに、巻末に自己評価用紙が用意され、学期ごとに生徒自身が書き込み、振り返りができるようになっています。

学校図書は、生命の尊厳、いじめ問題や情報モラル、スポーツ、防災教育など身近で現代的な課題が積極的に取り上げられています。また、道徳的諸価値の理解を深め、多面的・多角的な見方や考え方ができるよう「心の扉」を設けたり、自己の学びを振り返ることができるよう、学期ごとに「学びの記録」ページが設定されていたりしています。

教育出版は、発達段階に応じて、個から社会へと視野を広げていけるよう内容項目が構成・配列されています。また、判断に迫られる場面、異なる立場に立って考えられる教材が取り上げられ、多面的・多角的に考えたりする際の助けとなる発問が示されています。教材ごとに「学びの道しるべ」が設けられ、問題解決的な学習を進めたり、学習を深めたりしていくことができるよう配慮されています。

光村図書は、全学年で生命を大切にす心の育成に重点を置き、いじめや情報モラルなど取り上げ、自分自身や社会との関わりについて考えられるよう配慮されています。また、手引を各教材の末尾に設け、考える観点を示しながら、生徒が多面的・多角的な考え方ができるよう工夫されています。さらに四つの「シーズン」ごとに「学びの記録」が設けられており、自分の変容を実感することができるよう配慮されています。

日本文教出版は、生徒の発達段階を踏まえ、他教科の学習内容や特別活動等との関連を考慮して、教材が配列されています。また、葛藤する場面がある教材や問題解決的な議論がしやすい教材があり、多面的・多角的に考えられるよう工夫されています。別冊ノートは1ページ構成で、自分の変化や成長を実感できるよう工夫されています。

学研は、生命の尊厳やいじめ防止に関する教材が多く、それに関連した内容を「特設ページ」で扱い、自他を尊重する心が育めるよう配慮されています。また、教材と関連した情報や、視点・学習内容の違う関連情報が「クローズアップ」として豊富に掲載され、学びが深まるよう配慮されています。

あかつきは、いじめ防止を含めた生命の尊厳に重点を置き、多面的・多角的に考えられる教材や、生きる喜びや感動を与えられる教材が選択されています。また、発達段階に即した教材と別冊ノートを相互に活用しながら、自己の道徳的諸価値の理解を深められるよう工夫されています。

日本教科書は、主として集団や社会との関わりに関する内容項目の教材が充実しており、社会的な視野を広げられるよう構成されています。また、教材ごとに「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」を設け、考え、議論することができるよう工夫されています。

次に、表記・表現及び使用上の便宜等について報告します。

各社とも、挿絵やイラスト、写真等を効果的に配置し、児童の興味・関心を引くように工夫されています。また、目次や教材ごとに、4つの視点がわかるように示してあります。色で区別している出版社は、教育出版、学研、あかつき、日本教科書、マークで区別している出版社が、光村図書、色とマーク両方で区別している出版社が、東京書籍、日本文教出版となっています。

最後に、印刷・製本等について報告します。

各社とも、配色やフォントを工夫したりするなど、読みやすい紙面作りをしています。教科書の大きさについては、小さいものからB5版が光村図書、日本文教出版、教育出版、日本教科書、A4版が東京書籍、学校図書、あかつき、A4版が学研となっています。

どの出版社もそれぞれ長所があり、研究員の中でも意見が分かれ、なかなか1社絞ることができませんでした。しかし、研究会の意見として1社に絞らなければならない、苦渋の選択をいたしました。研究会といたしましては、ユニバーサルデザインを意識し、読みやすい独自のフォント、軽くて記入しやすい紙を使い、紙の色や配色にもこだわり、全体として心を耕す優しいイメージで統一している教科書であること、そして、担任として授業を行うとき、様々な形の発問が用意され、生徒の実態や教師の力量に応じて、発問を選択して授業を行うことができる光村図書出版

を、研究員の総意として報告させていただきます。

以上で報告を終わります。

(会長)

只今の報告に対してご質問はありませんか？

(委員)

新学習指導要領の柱である主体的・対話的な学びを深めるために、研究会が推薦する出版社についての特長や利点を教えてください。

(研究員)

各社ともに中心になる発問や自分に生かすための発問が用意されており、いままで課題であったねらいにせまる発問作りをサポートする工夫がなされています。特に光村図書においては、中学生の発達段階に即した心動かされる魅力ある話を教材化し、めあてに迫るため、本文後に道徳的な問題を明らかにする発問、道徳的な価値についての理解や自覚を深めるための発問、自分ごととしてとらえるための発問が3つの観点から用意されています。また「見方を変えて」では考える観点とは視点を変えた発問も用意されており、生徒が多面的、多角的な見方や考え方ができるための工夫もなされています。多様な発問を用意してあることにより、授業者が発問を自由に組み合わせたり、付け加えたり、取捨選択することにより、授業展開の自由度が増し、より魅力的な授業づくりの手助けをする工夫がなされているといえます。

(会長)

その他、ありましたらお願いします。

(委員)

小学校では日本文教出版の教科書を使用していますが、小中学校の連続性についてはどのように考えますか。また、小学校教科書と重複して取り上げられている教材はありませんか。

(研究員)

国語や算数・数学などの教科は、学習の連続性という面から小中学校で同じ教科書を使うことにメリットがあると思います。しかし、道徳の授業においては、教材1つ1つが独立しています。今までも、多くの学校で明るい人生を使用しながらも、研究校などは他社の副教材などを併用して道徳の授業を行ってきており、教材の連続性についてはそれほど重要ではないと考えます。また、日本文教出版の小学校教科書に掲載されている教材で、中学校の教科書で使われているものは7教材ありました。そのうち6教材が人物で1教材が歴史的事実でした。ただし、どの教材も同じ人物や歴史的事実を取り上げていても、内容や主発問等は発達段階に応じたものになっています。光村図書では、1年生で「ヘレンと共に」というヘレンケラーの家庭教師であったアニー・サリバン先生の話が5年生の教科書と重複していますが、発問等は中学2年生に適したものとなっています。担任が同じ教材を使用したくない場合は、補充資料や明るい人生などの教材と差し替えるなどの対応をしていただければと考えます。

(会長)

ありがとうございました。その他ありますか。

(委員)

研究会が推奨している光村図書の教科書については、内容的には検定を通過しているので問題はないと思いますが、ユニバーサルデザインを意識したわかりやすい独特のフォントを使用しているとありますが、かなり文字が小さいように思うのですが、また、教科書自体が入り組んだような感覚を受けるのですが、研究会では何か議論はありましたか。

(研究員)

昨年小学校の道徳の教科用図書の研究をした時は、光村図書の教科用図書の文字が小さく読みづらいので、もう少し文字が大きく読みやすいものをとという議論はありましたが、中学生の教科

用図書ですので、そこまで読みにくさはないのではと考えました。また、他社との文字も大きさもあまり差がないように感じました。今回、内容的にも、発問の豊富さからも、クラスの実態や発達段階に応じて、授業者が選択できる教科用図書という点を重視して、光村図書を選びました。

(会長)

よろしいですか。その他はありますか。

(委員)

2点お願いします。1点目は、明るい人生に掲載されていた教材は、各社の教科書にはどれぐらい使われていますか。

(研究員)

明るい人生に掲載されていた教材の中で、1年生は9教材、2年生は3教材、3年生は11教材が、中学校の教科書で使われています。その中でも3年生の明るい人生にある「二通の手紙」と「足袋の季節」という教材については、8社すべてで掲載されています。掲載学年が明るい人生と同じ学年でないものも多く、明るい人生で掲載された教材が、来年度以降上の学年で掲載されているものが8教材あります。多い教科書会社で4教材が同じ教材を重複して使用することになります。光村図書では、3年生の明るい人生で掲載されていた教材のうち4教材が教科書で掲載されていますが、3年生に3教材、1年生に1教材となっており、次の学年で再び掲載され差し替えなければいけない教材はありませんでした。

(会長)

よろしいでしょうか。

(委員)

2点目は、今回の採択理由書は情報公開の対象になりますか。

(事務局)

対象になります。

(会長)

よろしいですか。そのほかどうですか。

(委員)

研究会でよく研究されていることがわかりました。「明るい人生」は、愛知県の校長先生や教員の方々が集まって、実際に学校で起こったことをストーリーして、子どもたちに語りかけるという教材になっています。研究会が選ばれた光村図書が「明るい人生」の思いを引き継ぎ、愛知の現状にあっているといいなという思いがあります。研究会の中で、愛知県の道徳教育を引き継ぐという意味で、議論になったことがあれば教えてください。

(研究員)

愛知県ではないですが、海部地区で研究指定を受けて研究をした経験からですが、学級の実態、学年の実態にあった発問をいろいろ工夫して授業実践をしてきました。光村図書は、発問が、いろいろな観点から構成されており、様々な学級・学年の実態に対応できるのではないかと考えました。愛知県独自とはいえないかもしれませんが、今回は光村図書の発問の構成がいいのではないかと考えました。

(委員)

6月の議会の中の委員会において、「道徳が教科化になることで評価はどうされますか。」という質問を受けました。私は、「文章で表現し、数値化はしません。」と答えました。今回、研究会が選ばれた教科書には、4段階で自己評価する欄があります。評価について、研究会で話題になったことを教えてください。

(研究員)

道徳の評価については、非常に話題になっております。大きくりの評価と一時間ごとの評価があります。教科書の自己評価は、そのまま評価に使えるかというのは、疑問点が残りますが、一つの目安にはなると思います。授業中の発言・つぶやきやノートやワークシートに書かれた言葉の内容などでいねいに記録を取って評価することが大切だと思います。一年間を通して、子どもたちがどれだけ成長できたかを評価すべきだと考えます。

(委員)

研究員が1つの出版社に選ぶ上で、光村出版以外に迷われた出版社はありますか、よろしければ、教えてください。

(研究員)

迷った出版社は、小学校との連続性という意味で日本文教出版です。研究会の後半部分は光村図書と日本文教出版の2社で比較検討しながら、議論を深めました。日本文教出版は、小学校といっしょの出版社なので、表紙、内容の構成、表記・表現及び使用上の便宜などが似ているため、なじみやすいという点がありますが、光村図書は、内容、発問の構成等がより優れていました。実際に授業する研究員からの意見も参考しながら、総合的に判断して、今回、光村図書を選びました。

(委員)

出版社によって、別冊のノートが付属しているものと付属していないものがあるが、別冊ノートの有無について、教えてください。

(研究員)

8社の教科書のうち、ノートがある出版社は、日本文教出版、あかつきの2社です。ノートがあることで振り返りの状況を見取ることができ、成績をつける上での資料にするためには便利さがあります。ノートがない出版社は、残りの6社です。ノートがないことで無駄な書く時間を省略し、考え、議論する時間を多くとることができます。ノートがない場合は、指導書やデジタル教科書に付属しているワークシートを活用することになり、児童の実態や授業展開に合わせて教師が発問を選んだり、独自の発問を考えたりし、ワークシートを加工することができます。光村図書ではそうしたワークシートとは別に教科書本文の後ろに「わたしの気づき」という書き込み欄を設けることで、ワークシートを使わない授業でも、1時間の生徒の成長や考えたことを書きとめることができ、授業展開によりワークシートの有無も自由に選択できるようになっています。また巻末の折り込みには、「学びの記録」と題したシーズンごとに自分を振り返ることができる書き込みページが用意されており、1年間を通した大きくりの評価ができるような工夫もなされています。

(委員)

各出版社の価格は、いっしょですか。

(研究員)

いっしょです。

(会長)

それでは、まだまだ議論はあろうかと思いますが、研究員の方にはかなり調べていただきました。2人の研究員の方ありがとうございました。退席をしてください。

<研究員退室>

(会長)

それでは、選定協議を始めます。

まず、小学校11種の教科用図書の選定協議に入ります。

各研究会からの報告では、平成27年度の採択と異なった教科用図書を選定した研究会はありませんでした。各研究会の意向の教科用図書は、国語…光村図書出版、書写…光村図書出版、社会…日本文教出版社、社会(地図)…帝国書院、算数…啓林館、理科…東京書籍、生活…啓林館、音楽…教育芸術社、図画工作…日本文教出版、家庭…東京書籍、保健…大日本図書でしたが、よろしいでしょうか。

===異議なし===

それでは、研究会の意向通り、小学校11種の教科用図書は、国語…光村図書出版、書写…光村図書出版、社会…日本文教出版社、社会(地図)…帝国書院、算数…啓林館、理科…東京書籍、生活…啓林館、音楽…教育芸術社、図画工作…日本文教出版、家庭…東京書籍、保健…大日本図書を選定します。

次に、中学校の「特別の教科 道徳」の選定協議に入ります。
研究部の意向は「光村図書出版」でしたが、よろしいでしょうか。

===異議なし===

それでは、中学校の「特別の教科 道徳」は光村図書出版を選定します。
慎重かつ公正な協議をいただき、ありがとうございました。
選定結果を確認します。

※ 事務局が出版社名を手書きした一覧表を渡す

海部地区において、平成31年度に小学校11種の教科用図書と中学校「特別の教科 道徳」の教科用図書は、このようになりました。ありがとうございました。
それでは、進行を事務局にお返しします。

5 閉会のことば

(事務局員)

会長、お取り回しありがとうございました。また、慎重にご協議をいただき、ありがとうございました。

この後の予定についてご説明申し上げます。

「教科書採択に係る今後の流れ及び留意点について」をご覧ください。

明日付けで、各市町村教育委員会へ選定結果を通知させていただきます。8月10日ごろに市町村教育委員会での採択結果を、2枚目からの様に、本協議会へご報告下さい。様式が海部教育事務所と同じものを使用しております。宛先だけ本協議会会長あてに変えてありますので、ご留意下さい。また、中学校の「特別の教科 道徳」以外の教科用図書については、平成30年使用教科用図書と同様のものを採択ください。協議会の選定結果は出ましたが、8月31日まで、採択結果は非公開となっております。本日の協議会で知り得た内容は、9月1日まで口外なされませんようよろしくお願いいたします。

お手数をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の協議会要項や研究報告書については机の上に置いてお帰りください。

以上をもちまして、平成30年度 教科用図書採択海部地区第2回協議会を終わります。

本日は本当にありがとうございました。